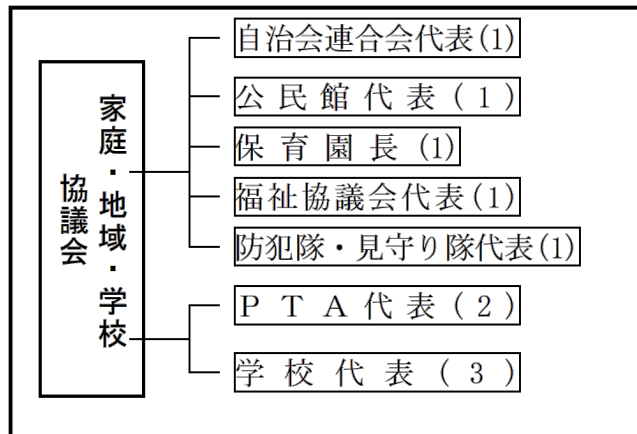


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



地域コーディネーター（3名）

本郷公民館長、本郷公民館主事、
本郷地区主任児童委員

(2) 協議会の内容

- 開催回数 年間4回
- 開催日程 6月19日、11月13日、
1月23日、2月21日
(1回は川西中・鶉小と合同開催)
- 協議内容
 - 6月：連合音楽会校内発表会
今年度の教育活動について
 - 11月：学校保健委員会参観
 - 1月：校内器械運動発表会
今後の教育活動について
学校関係者評価
 - 2月：中学校区合同協議会（成果と課題）

(3) 協議会における成果と課題

ネット利用のトラブルと問題点について、中学校区協議会で話し合うことができた。学校・地域でできることと保護者の理解・協力が必要なことがあり、両者が協力し取り組んでいく体制が必要であると共通理解できた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童と保護者・地域等とのさまざまな関わり合いの中で、地域に根ざした授業づくりに取り組み、地域のよさやすばらしさを体感する体験活動等を通して、地域を愛する心を持ち、たくましく生きる子の育成を図っていく。

(2) 活動の実際

① 田植え・稲刈り体験（3年生）

3年生による米作り体験を行った。地域の方による協力のもと、田植え・稲刈りを手作業で行った。

田植えでは、昔ながらの枠付けによる手植えを体験した。また、JAの協力により自動運転田植機による田植えの様子も観察させていただいた。農業の機械化について学んだことで、本郷地区の今後の農業のあり方についても考えを深めることとなった。

稲刈りでは、鎌を使い稲刈りを体験し、働くことの尊さや命あるものをいただくことに対する感謝の思いを深めることができた。



② 伝統産業の調査学習（4年）

本郷地区における伝統的な産業を調べる学習を行った。地域コーディネーターより、夢プラン本郷地区委員会作成の「本郷みてある記」をもとに教わることができた。さらに他地域における産業についても調べることで、学びを深めることができると考え、社会科で学習している越前和紙について探究活動を行った。本郷地区と比較し、それぞれの特長やよさについてより明確になったようだ。学習後の発表会では、それぞれの共通点・相違点や伝統産業に関わる人々の思いなどについて理解を深めた発言がなされていた。



③ 地域と連携した花いっぱい運動（3～6年）

人権ネットワーク協議会より花の贈呈があり、園芸委員会と一緒にプランターに花の苗を植えた。中・高学年が協力して育て、地域の公民館にプレゼントした。公民館の「ふれあい花壇」とともに、地域が美しい花でいっぱいになるよう、願いを込めてメッセージプレートを添えたプランターを贈呈することができた。贈呈後も公民館での水やりに協力し、花いっぱい運動に貢献することができた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

地域での体験学習や交流学习等において講師を務めていただいたり、他の専門家を紹介していただいたりするなど多くの支援を受けた。また、公民館の方には、児童が参加しやすい行事の企画や地域の方との交流の場を設定していただいた。

(4) 特に工夫した事項

例年公民館の事業である「ふれあい花壇」の花植え・水やりに参加させていただいていたが、今年度は、学校から公民館へ花のプレゼントを行うことができた。日頃から、学習や登下校等で日常にお世話になっている地域の方々ために「何ができるか」を考え、明るいまちづくりに貢献できる活動について考えた。委員会や学年活動など、発達段階に応じた活動を行い、児童の手作りの贈呈式が行えた。

(5) 成果と課題

体験活動や地域人材の活用に積極的に取り組み、児童の学習活動を充実したものにすることができた。こうした活動を保護者や地域の方に公開したり、学校便り等で報告してきたことにより、周囲の方から協力いただける体制もさらに整ってきた。

今年度は、これまで積み上げてきた各学年の取組と他教科との関連性、他学年との系統性について、カリキュラムを一部改善しながら実施してきた。来年度は、中学校区教育との関連も視野に入れキャリア教育の視点から精選し、さらに児童の「やりたい！」を喚起できるより質の高い地域学習、ふるさと教育に取り組んでいきたいと考える。